

宝塚市自立支援協議会 専門部会「けんり・くらし部会（地域移行グループ）」

平成 29 年度活動経過報告

- I 開催日時 第 1 回 平成 29 年 6 月 29 日（木） 出席者 11 名 13：30～15：30
第 2 回 平成 29 年 8 月 8 日（火） 出席者 10 名 13：30～15：30

II 要旨

第 1 回 けんり・くらし部会 地域移行 G r (29.6.29)

1. 委員紹介（自己紹介） ※別紙の名簿をもとに自己紹介

2. 宝塚市の今後の施策について

障害福祉課より、自立支援協議会の在り方について、市が検討している今後の福祉施策についての説明があった。特に、市民福祉金がなくなることに対しては、「今後もしっかり協議してほしい」、「3 障害すべての方が利用できるよう初期計画段階から盛り込んでほしい」等意見が出た。

3. 前年度の振り返り

施設・病院からの地域移行を考えた際、それぞれに課題は違うことを確認し、S 委員の家族の話を事例として取り上げ、病院から地域移行するまでの流れやその難しさ、きっかけなどを聞いた。そこで、任意入院の方へのアプローチの方法を検討することとし、病院の取り組みの実態を聞くことを予定した。しかし、いざ話を聞き病院側が宝塚に退院させたいとなった場合、宝塚では受け入れができるのか、受け入れる体制は整っているのかという不安の声も一方で上がった。

4. 今年度のけんり・くらし部会（地域移行 G r .）の方向性について

昨年度の振り返りであげられた不安の声に対し、どのような体制や課題があげられるか、それらに対しどのような対応を取ることができるのか具体的に考えた。

○24 時間体制があれば安心できる。

⇒夜間対応のある訪問看護を活用してはどうか。訪問看護は周知されているのか？

○住居確保が難しい。家族では限界がある。

⇒地域移行を利用し住居を探す。民間で住居探しや契約代行をしている所もある。

○地域移行に失敗しても戻れる環境があれば安心できる。

⇒病院はベッドの空き状況や、それぞれの方針もあるので、いつでも受け入れできる体制を整えておくことは困難。

○夜間など緊急時の対応がわからない。

⇒内科的・精神科的どちらのものなのかを判断。緊急事態だと判断した場合には、迷わず救急車を要請。17 時～翌 9 時であれば情報救急センターに問い合わせることもできる。

また、近隣のスーパー救急を利用することもできる。

第2回 けんり・くらし部会 地域移行G r (29.8.8)

1. 前回の部会の振り返り

長期入院の中でも任意入院に焦点をあてた時、病院の取り組みだけでなく、地域の受け皿としての役割や体制を改めて検討することが必要となった。そこで、今回は“架空のAさん”を設定し、Aさんが地域に戻る際にどのようなニーズがあるのか具体的に確認し協議を行った。

レジュメを見ながら、前回出た意見を確認。他にニーズがないか問うと、病院のケースワーカーとの関わりや、地域の民生委員とのつながりに支えられたという意見があがった。

2. 意見（ニーズ）に対し具体的な対応を検討

具体的に退院後の生活イメージを持ってもらうためにどうすればよいか協議。こむの事業所の居住サポートや伊丹市にあるアイ愛センターでの体験宿泊、ウィークリーマンションを借りての体験などがあがった。また、入院中でもデイケアを利用し、買い物や洗濯等、日常生活訓練ができることも提示された。

夜間の不安に対しては、前回も24時間対応の訪問看護事業所があげられたが、夜間すぐに連絡がつくとはかぎらないことや、眠れないときに色々と考え不安になってしまうことから、24時間の電話相談窓口がないことをはじめ、課題が多いことが確認された。

住まいについては、やはり保証人の問題が大きくなった。保証人は貸主のリスク回避の為に必要であるため、いかに理解のある管理者を増やしていくことができるかがカギとなってくる。また、空き家の活用も考えられるとなった。

地域への理解に関して、研修や啓発活動をしなくても関心のある人しか集まらないのが現状。学校と連携し子どもを対象に話をしたり、民生委員と個別のケースをもとに対応を検討することも考えられるとなった。宝塚市でも災害時の要援護者支援制度が始まるが、対象者の同意を得ることができれば民生委員による自宅訪問が可能なこと、また、現状として機会は減っているが、管轄派出所の警察官が巡回訪問し、家族の状況等を把握していることもあげられた。

退院にまつわる家族への説明について、本人の意志が強いと原動力ともなるが、一方で家族から反感を買うこともある。社会資源を利用し、相談支援事業所・ケアマネ・市役所職員・地域の福祉サービス事業者等たくさんの力を借りることで実現できることもあるとの意見も出された。

3. 次回の部会について

今後の動きなど段取りを整理し、まとめる。病院を呼ぶ際の必要事項を再度確認する。

4. 今後の予定

29年度	第3回	けんり・くらし部会（地域移行グループ）	10/17（火）	13：30～15：30
29年度	第4回	けんり・くらし部会（地域移行グループ）	12/20（水）	13：30～15：30
29年度	第5回	けんり・くらし部会（地域移行グループ）	2/13（火）	13：30～15：30

Ⅲ. 今後の展開

今までの協議事項や意見交換を整理しまとめ、病院側に話を聞く段取りを整えていく。また、病院を呼ぶ際の質問事項の再確認を行い、呼びかける病院を決めていく。

地域・病院双方の現状を知ることで、地域移行を阻害している要因を検討。今後、宝塚で地域移行を進めていくうえで必要となることを検討していく。